

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）3・4月展示

企画展「学び・遊ぶ―幕末・明治の子供たち―」展

会期：3月1日（火）～4月25日（月） 休館日：毎週木曜、3月26日～31日

入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円 ※団体（20名以上）要予約

同時開催 特別展「暁斎プラス・ユース in Warabi-My Dear Kyosai-」

会期：3月1日（火）～25日（金） 休館日：毎週木曜



↑河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから
<http://kyosai-museum.jp/>

今月1日より開催中の企画展では、暁斎・暁翠が子供たちを描いた作品を展示しております。春らしく満開の桜を描いた、暁翠の掛軸「八重桜に鳥」など、約40点をご覧ください。

また、3月25日まで、特別展「暁斎プラス・ユース in Warabi-My Dear Kyosai-」を同時開催しております。特別展では、市内・近郊の高校生の創作活動を応援したいと考え、蕨市と戸田市の4校の高校生たちが描いた独創的な作品を約30点展示します。若い感性溢れる作品の数々を併せてご覧下さい。

暁斎挿絵『母の導き』より「粘土で山を築き、龍吐水で放水する図」

マルセツ著 土居光華訳 淡山楼蔵 和泉屋市兵衛版 和装本 上下2冊 明治7年1月

アメリカで広く愛読されたマルセツ夫人の児童向け啓蒙書のひとつ、『Conversation for Children on Land and Water』（1838）の翻訳版に、暁斎が描いた挿絵です。翻訳者は、ジャーナリストで後に衆議院議員にもなった、土居光華（1847-1918）。本の内容は、世界の地理についての基礎知識を、母と子の問答形式で著しており、13点ある挿絵の内、暁斎が8点を描いています。なお、マルセツ夫人の原書に挿絵はなく、暁斎は集めていた西洋の雑誌や洋書の挿絵を参考に翻訳版の挿絵を描いたとされていますが、楽しげに西洋の子供たちが水を撒く様子は、現代のアニメや劇画にも通じる躍動感にあふれています。



第一中学校 けやき学級（特別支援学級）

2月19日（金）に行われた、中央公民館での蕨市内小中学校合同の特別支援学級卒業生を送る会は大成でした。今年は、市内小中学校の特別支援学級児童生徒の9名が卒業を迎えます。

第一中学校のけやき学級は、和太鼓の演奏を披露しました。2月上旬から、風邪が流行っていて、クラス全員がそろっての練習がなかなか出来ませんでした。限られた時間の中で集中して取り組み、本番に臨むことができました。

和太鼓演奏を「卒業生を送る会」で発表することは、初めての試みでした。今年の目標は「全員で気持ちを合わせて、手際良く太鼓の出し入れをして、大きな声でリズムとタイミングを合わせ、卒業生に感謝の気持ちを届ける。」でしたが、本番も気持ちをそろえて演奏することができました。

真ん中で使用した大太鼓は、今まで、第一中学校の体育祭組体操用に使われていたものです。外で使用

されていたので、皮もかなり傷んでしまっています。音があまり響かなくなっているのですが、大きな声と、ばちさばきでカバーして、頑張りました。

どの学校も素晴らしい発表でした。発表に向けて、一生懸命に練習してきた姿が頭に浮かびます。セレモニーでは卒業生代表から、交流学級で学んだ思い出もつづられ、卒業する学校全体への感謝の思いがこもっていました。卒業生を送る会は、とても感動的でした。会となりました。

3月はいよいよ卒業式がやってきます。一緒に学んだ仲間と、学校で支えてくれた先生と、いつも励ましてくれた家族と、素敵な思い出をたくさん振り返ることができるのではないのでしょうか。そして、新たな生活へのスタートです。これまで学んできた事を忘れずに、がんばってほしいと思います。卒業生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。